5　その他
⑴　手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨に限る。
⑵　入札保証金及び契約保証金
①　入札保証金　納付。ただし、銀行等の保証をもって入札保証金の納付に代えることができる。なお、落札者が契約を結ばない場合は、本学に帰属する。また、入札保証保険契約の締結を行い、又は契約保証の予約を受けた場合は、入札保証金を免除する。
②　契約保証金　契約金額の100分の30以上の契約保証金又はこれに代わる担保を納付又は提供すること。ただし、保険会社との間に本学学長を被保険者とする履行保証保険契約（契約金額の100分の30以上）を締結し、その証書を提出する場合又は保険会社と工事履行保証契約（契約金額の100分の30以上）を締結し、その証書を提出する場合は契約保証金の納付を免除する。
⑶　入札の無効　本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、技術提案書等に虚偽の記載を行った者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。
⑷　落札者の決定方法　国立大学法人京都大学契約事務取扱規則第13条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で有効な入札を行った者のうち、評価値の最も高い者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められる時、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあって著しく不適当であると認められる時は、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、評価値が最も高い者を落札者とすることがある。
⑸　本工事に係る技術提案書等の提出にあたって、ＶＥ提案により施工しようとする場合は、その内容を示した技術提案書を提出すること。ただしＶＥ提案が適正と認められなかった場合においては、標準案により入札に参加できる。また、標準案に基づき施工しようとする場合は、標準案によって入札に参加する旨を記載すること。
⑹　契約書作成の要否　要
⑺　当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を当該工事の請負契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無　無
⑻　技術提案書のヒアリングは必要に応じて行う。
⑼　ＶＥ提案の採否　ＶＥ提案の採否については、競争参加資格の確認の通知に併せて通知する。
⑽　関連情報を入手するための照会窓口　上記４⑴に同じ。
⑾　一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加
上記２⑶に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記４⑶により技術提案書等を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時において、当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。
⑿　手続における交渉の有無　無
⒀　詳細は入札説明書による。
6　Summary
⑴　Contracting Entity : Hiroshi Matsumoto, President, Kyoto University
⑵　Classification of the services to be procured : 41
⑶　Subject matter of the contract : Construction work of Building for Clinical Research Center for Innovative Medical Devices, Kyoto University
⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification : 5 : 00 PM, 30 March, 2010
⑸　Time-limit for the submission of tenders : 12 : 00 AM, 18 May, 2010
⑹　Contact point for technical and tender documentation : Budget for Construction Section, Planning Division, facilities management department, Kyoto University, Yoshida-honmachi Sakyo-ku Kyoto-shi 606―8501 Japan TEL 075―753―2308

招　　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
平成 22 年３月 10 日
独立行政法人科学技術振興機構
分任契約担当者　経理部長　加納富次雄
◎調達機関番号　566　◎所在地番号　11
○第 21―1010 号
1　調達内容
⑴　品目分類番号　24
⑵　導入計画物品及び数量　中部シンクロトロン光利用施設ビームライン　一式
⑶　調達方法　購入等
⑷　導入予定時期　平成22年度第２・四半期以降
⑸　調達に必要とされる基本的要求要件
Ａ　中部シンクロトロン光利用施設の超伝導偏向電磁石（ＳＢ）、常伝導偏向電磁石（ＮＢ）およびアンジュレータ（Ｕ）からの高輝度放射光を受け、真空紫外から硬Ｘ線領域のシンクロトロン光を実験装置に供給する装置であり、以下の機能を持つ機器を備え、かつ放射線被爆事故を避けるため、製造請負業者において統一的に工程管理されるものであること。
Ｂ　基幹部
Ｂ―①　基幹部共通要件
超高真空を保つための十分な排気能力を持ち、水冷マスク、アブゾーバ、ビームシャッターを有し、放射光を安全に制御して下流の輸送部に供給することができること。
Ｂ―②　ＳＢ用基幹部
基幹部共通要件に加えてBe窓を有すこと。
Ｂ―③　ＮＢ用基幹部
基幹部共通要件に加えて即断シャッターを有すこと。
Ｂ―④　Ｕ用基幹部
基幹部共通要件に加えて即断シャッターおよび金コート水冷トロイダルミラーを有すこと。
Ｃ　輸送部
Ｃ―①　輸送部共通要件
高真空を保つための十分な排気能力を持ち、単色化および集光した放射光ビームを下流の実験装置に供給することができること。
Ｃ―②　ＢＬ５Ｓ１輸送部
基幹部共通要件に加えて、４象限スリット、平行化ミラー、二結晶分光器、集光ミラー等を有すること。二結晶分光器はカム式であること。
Ｃ―③　ＢＬ５Ｓ２輸送部
基幹部共通要件に加えて、４象限スリット、平行化ミラー、二結晶分光器、集光ミラー等を有すること。二結晶分光器はカム式であること。
Ｃ―④　ＢＬ６Ｎ１輸送部
基幹部共通要件に加えて、４象限スリット、集光ミラー、二結晶分光器等を有すること。二結晶分光器はゴロブチェンコ型二結晶分光器であること。
Ｃ―⑤　ＢＬ７Ｕ１輸送部
基幹部共通要件に加えて、４象限スリット、各種集光ミラー、回折格子分光器等を有すること。回折格子分光器は偏角可変不等間隔平面回折格子型であること。
Ｃ―⑥　ＢＬ８Ｓ１輸送部
基幹部共通要件に加えて、４象限スリット、集光ミラー等を有すること。
Ｃ―⑦　ＢＬ８Ｓ３輸送部
基幹部共通要件に加えて、４象限スリット、一結晶分光器、集光ミラー等を有すること。
一結晶分光器は非対称集光型であること。
Ｄ　実験ハッチ
Ｄ―①　ＢＬ５Ｓ１実験ハッチ
硬Ｘ線ＸＡＦＳ用実験装置を収納し、ハッチ中で大気中に取りだした放射光Ｘ線を十分に遮蔽することができる壁を有する構造体であること。
Ｄ―②　ＢＬ５Ｓ２実験ハッチ
Ｘ線回折用実験装置を収納し、ハッチ中で大気中に取りだした放射光Ｘ線を十分に遮蔽することができる壁を有する構造体であること。
Ｄ―③　ＢＬ８Ｓ１実験ハッチ
蛍光Ｘ線分析／反射率用実験装置を収納し、ハッチ中で大気中に取りだした放射光Ｘ線を十分に遮蔽することができる壁を有する構造体であること。
Ｄ―④　ＢＬ８Ｓ３実験ハッチ
小角散乱用実験装置を収納し、ハッチ中で大気中に取りだした放射光Ｘ線を十分に遮蔽することができる壁を有する構造体であること。
2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　平成22年４月12日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）